

# 憲法をいかに地域の再生を考えるシンポジウム

## ～「地方創生」は地域・住民に何をもたらすか

日時 **11月8日(日) 13時～16時半**

場所 **全国教育文化会館7F大会議室**

〒102-0084 東京都千代田区二番町1-2-1  
TEL 03-5210-3511

### 内容 ◆特別報告

民間労組、地方労連、公務労組連絡会など

### ◆パネルディスカッション

パネラー 井上 久 (全労連事務局長)  
津田 久則 (直方市公契約審議委員)  
岡田 知弘 (京都大学教授)

コーディネーター

中川 悟 (自治労連書記長)

貧困と格差が拡大するもと、地域経済の行きづまりは深刻で、循環型の地域経済づくりと地域の再生が大きな課題です。そのためにも、最低賃金や公契約、公務員賃金改善、中小企業支援、雇用の安定や社会保障の拡充が重要であり、全労連は「地域活性化大運動」を提起しています。

シンポジウムでは、この間の地域でのとりくみや経験を交流し、安倍政権の「地方創生」戦略がねらう「ローカル・アベノミクスの実現」、「公的サービスの産業化」や「規制緩和」などが地域にもたらす問題点とともに、憲法をいかに地域再生の課題を考えます。

公務労働組合、民間労働組合、研究者、民主団体など幅広い共同のとりくみを発展させるため、積極的なご参加をお願いします。



主催：全国労働組合総連合  
連絡先：(03)5842-5611